



発行所 東京土建一般労働組合三鷹武蔵野支部
東京都三鷹市上連雀7-33-8
電話 0422(47)9101
Fax 0422(47)9104
発行責任者 升川 明

10・11月の主な日程
15日(日) 福島ボランティア
22日(日) 写真教室
29日(日) 集団健診
11月
6日(月) 書記局会議
7日(火) 常任執行委員会
8日(水) 執行委員会
12日(日) 70周年イベント
14日(火) 新加入者説明会
※駅直下 1・22日

どけんの田んぼで食育を楽しむ
米づくり体験で稲刈り

【後継者対策部発】「食育」をテーマにした、2017年家族そろって米づくり体験は杉並支部との合同企画として取りくみがスタートしました。
第1弾は『田植え』第2弾は『草刈り』そして今回の3弾が『稲刈り』と、これまでの参加回数に応じて、1人1回1キロのお米がもらえる企画となっています。
今では刈取りから稲の乾燥まで機械によりおこなわれますが、この米づくり体験では鎌で刈取り天日干しするという昔ながらの作業です。普段の食卓にならぶご飯(お米)は、こうした大変な作業と過程を通じて出来る上がることを親子そろって実感できたことと思われ



木や竹を組み稲を逆さまにして干す「おだかけ」

さんのおぶどうを試食することができ、一人2房ずつお土産に持ち帰ることもできました。
4月より始まった米づくり体験、貴重な取りくみにご協力いただいた現地の「NPO 法人アグリさとやま」「JA(農協)」の皆さんありがとうございました。そして参加者の皆さん、11月5日(日)には支部会館にて収穫祭を予定しております。当日はみんなで作ったお米を配布し、その場でも新でお米を炊きますのでぜひご参加ください。
【参加者数】
大人(67人) 小人(37人) 合計104人
●三鷹武蔵野支部・・・大人(35人) 小人(15人) 計50人
●杉並支部・・・大人(32人) 小人(22人) 計54人

作業終了後の昼食はハーベQ。子どもたちは美味しく楽しく、大人たちは肉や野菜などの焼き手に交代でまわりながら、中には冷たいビールやお酒を酌み交しながらと支部間を越えた交流の姿が印象的でした。
お腹を満たしたあとは場所をかえ、現地直売店の買い物、そしてぶどう狩りへと向かいました。その場でたく

秋の月間目標達成に向けて
月間も後半戦に突入

【矢内雅之書記長記】彼岸も過ぎて、朝晩涼しく、秋らしくなってきました。皆様方におかれましては、お忙しい中での拡大運動行動に對しまして、衷心より感謝申し上げます。
10月1日(日)には武蔵境「スウィングホール」にて中

各種土建の取り組み制度の説明と周知徹底をお願いいたします。
対象者がいるとか、既に達成した分会におきましては、超過達成を目指して下さい。これらはすべて私たちの諸要求実現のためであり、東京



協力を訴える島村組織部長

Table with 5 columns: 分会, 1月1日現勢, 秋の月間3.5%目標, 10/4現在拡大数, 秋の月間目標残数. Rows include various branches like 井の頭, 牟礼, 北野, etc.

ともに生きる未来を
さよなら原発集会

【荒木大輔書記記】台風一過で真夏のような暑さとなった9月18日、代々木公園において「さよなら原発さよなら戦争全国集会」がなら戦争全国集会」が行われました。
2011年3月の事故から6年半経過した今も8万人近い人々が避難生活を余儀なくされています。それに加え補償の打ち切り、帰還の強制など、被災者の切り捨てが行われています。
さらには原発の再稼働とインドへの輸出。福島原発の廃炉もできないままに「福島原発は完全にコントロールされている」とオリン

代々木公園に9500人

最後に核兵器廃絶、原発推進をやめさせよう、シユプレヒコールを行い終了しました。その後、外苑前までデモ行進を行い、表参道に買い物物にきている若者や外国人観光客などに核兵器の廃絶を訴えるコールをして歩きました。

雑記林

届いたのです。送り主は「三鷹市長」。77歳以上が対象である「敬老の日(ついで)」の招待状です。今年77歳を迎えて初めての経験。あ、もう世間では老人なんだ。でも、でも、でも...。
今年「敬老の日」に厚生労働省より発表があった。国内の100歳以上の高齢者は6万7千人を超え、女性が87.9%を占め、最高齢者の女性117歳、男性112歳。毎年確実に寿命は延びている。100歳以上になると政府より銀杯が贈られるが、今から23年も先のこと。それより先に膨らみ続ける医療費や介護費用を考えなければ。
▼迫りくる「大負担増時代」人生100年時代を生き抜くのは大変だ。「健康」と「資産」、他に何が必要だろうか。何歳まで生きるかは分からない。必要以上に心配することはないが、やっぱり気になるのは私だけだろうか。▼実母100歳と9ヶ月で今のところ健在。私も100歳を迎えるのかも。▼長寿時代を迎え、改めて考えている。命ある限り、人に迷惑を掛けず、ある程度の精神力を持ち、快食・快便の人生を送りたい。願わくば24年続けてきた水泳も。忘れていけないのは年一度の健康診断。早期発見は長寿につながる。思い願うことはたくさんあるが、やっぱり「金さん銀さん」のように元気がいい。あ、元気でいたい。

